

みんなくりポジトリ

国立民族学博物館学術情報リポジトリ National Museum of Ethnology

Bulletin of the National Museum of Ethnology Vol. 1-41; Complete table of contents

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2017-04-13 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10502/00008450

国立民族学博物館研究報告 総目次

1 巻 1 号

梅棹 忠夫 創刊のことば

論 文

- 黒田 悦子 ミへの儀礼——メキシコの土着宗教とカトリック—— …………… 1
佐々木高明・深野 康久
ルカイ族の焼畑農業——その技術と儀礼についての調査報告—— …………… 33
中村俊亀智 シロフミ田下駄の諸系列——用具論的に—— …………… 126

資料・研究ノート

- 加藤 九祚 中川五郎治の見たシベリア諸民族…………… 152
EGUCHI, Paul Kazuhisa Performers of Fulbe Oral Arts in Diamaré Prefecture …………… 159

調査研究活動報告

- 中山 和芳 ニューギニアの収集品から…………… 169
大給 近達 ヨーロッパ諸国の博物館視察 (1)…………… 177
和田 祐一 ヨーロッパの調査収集 (1) ——フィンランド—— …………… 181
端 信行 西アフリカ収集調査雑記…………… 187
祖父江孝男 HRAFとの協力体制はじまる …………… 194

梅棹 忠夫 『国立民族学博物館研究報告』のあり方について …………… 204

1 巻 2 号

論 文

- 松原 正毅 トルコの村の食事体系…………… 219
藤井 龍彦 中央アンデス・ワヌコ地域の石器文化…………… 272
加藤 九祚 間宮林蔵の見たギリヤク族 (1)…………… 305
EGUCHI, Paul Kazuhisa Mbum Circumcision Songs …………… 334

資料・研究ノート

- KURODA, Etsuko Apuntes sobre la Historia de los Mixes de la Zona Alta,
Oaxaca, México …………… 344
石毛 直道 Kumupaの塩——イリアン・ジャヤ中央高地の物質文化 (1) —— …………… 357
泉 幽香 視覚的思考をめぐる覚え書——構造主義の交換論的視点から—— …………… 374

調査研究活動報告

- 杉本 尚次 トーレス海峡諸島調査記…………… 386
石森 秀三 オセアニア民族資料収集調査記…………… 400
藤井 龍彦 中南米研究調査の旅から…………… 424

藤井 知昭	ゾロアスター教徒の衣裳——西アジア収集の回想——	427
吉田 集而	インドネシア民族資料調査収集旅行ノートから	431
田邊 繁治	タイ稲作社会の調査より——タマサート大学——	444

1 巻 3 号

論 文

関本 照夫	中部ジャワ農村の儀礼的食物交換——スラカルタ地方の事例より——	457
松澤 員子	東部パイワン族の家族と親族 —— <i>ta-djaran</i> (1つの路) の概念を中心として——	505
端 信行	ドゥル族の季節観と農作業暦	537
藤井 龍彦	中央アンデス Middle Horizon の成立について	565

資料・研究ノート

吉田 集而	トバ・バタック族の親族呼称について	592
大胡 修	島根半島一漁村の親類	604
石毛 直道	交通手段——イリアン・ジャヤ中央高地の物質文化 (2) ——	618

調査研究活動報告

宮本 繁雄	アメリカ合衆国の自然史博物館	637
大給 近達	ヨーロッパ諸国の博物館視察 (2)	657
櫻井 哲男	韓国の民俗音楽調査から——研究教育機関等の訪問を中心に——	660

1 巻 4 号

論 文

田邊 繁治	ノーンパーマンの灌漑体系 ——ランナータイ稲作農村の民族誌的研究 (1) ——	671
大塚 和義	アイヌのキテ (回転式離頭鉞) の諸系列——形態分類と編年——	778

資料・研究ノート

竹村 卓二	ヤオ族の姓と命名法	823
中村俊亀智	東北地方タケカゴ細工の基調 ——日本列島におけるカゴ細工の諸系列 (1) ——	847
吉田 集而	ウロス——トバ・バタック族の布について——	868

調査研究活動報告

大給 近達	ヨーロッパ諸国の博物館視察 (3)	884
端 信行	サン・ルイ断章——在外研究活動の記録——	887
梅棹 忠夫	国立民族学博物館における研究のあり方について	896

2 卷 1 号

論 文

- 祖父江孝男 文章完成法テストよりみたイタリア人のパーソナリティ
——日本人およびアメリカ人との比較分析—— …………… 1
- 君島 久子 竜神（竜女）説話と竜舟祭（1）…………… 34

資料・研究ノート

- 櫻井 哲男 民俗音楽の概念についてのひとつの試み…………… 63
- 宮本 勝 ハヌヌー・マンギャン社会の構成について…………… 84
- 中山 和芳 ニューギニア高地における一時的狂気の構造…………… 123
- 杉本 尚次 九州地方の民家研究展望…………… 141
- 中村俊亀智 関東地方のタケカゴ細工の展開
——日本列島におけるタケカゴ細工の諸系列（2）—— …………… 172
- 藤井 龍彦 中央アンデスのチャンカイ文化と天野博物館について…………… 196

調査研究活動報告

- 和田 正平 東アフリカ収集調査ノートより…………… 227

2 卷 2 号

論 文

- 須藤 健一 ミクロネシアの養取慣行——族制、土地所有、分配体系との関連で—— …………… 245
- OMORI, Motoyoshi Violence and Legal Sanction in an East African Town …………… 282

資料・研究ノート

- 石森 秀三 マオリ研究の系譜とその展開…………… 306
- 伊藤 幹治 慶良間群島の祭団連合——沖縄の民族宗教ノート（1）—— …………… 336
- 中村俊亀智 中部地方タケカゴ細工の諸相
——日本列島におけるカゴ細工の諸系列（3）—— …………… 351

調査研究活動報告

- 黒田 悦子 アメリカ合衆国にラテンを求めて
——ニュー・メキシコからメキシコへの旅—— …………… 377
- 加藤 九祚 ブルガリア民族学の旅…………… 393
- 石毛 直道 国立民族学博物館ハルマヘラ調査隊概報…………… 423

2 卷 3 号

論 文

- 吉田 集而 ハルマヘラ島における民俗方位の構造…………… 437
- 松山 利夫 野生堅果類、とくにトチノミとドングリ類のアク抜き技術とその分布…………… 498

資料・研究ノート

大給 近達	人間関係における認知の形式に関する一考察 ——アマゾン・カムユラ族の親族事例——	541
中村 基衛	ミクロネシア・ブルスク島における家屋と住まいかた	565
藤井 龍彦	中央アンデス地帯の染織文化——その文化史的観点からの一考察——	590
中村俊亀智	近畿地方のタケカゴ細工——日本列島におけるカゴ細工の諸系列(4)——	605

2巻4号

論文

栗田 靖之	物質文化から見た現代家庭	643
秋道 智彌	伝統的漁撈における技能の研究——下北半島・大間のババガレイ漁——	702

資料・研究ノート

黒田 悦子	守護聖人の祭りにみられる民俗芸能について ——メソ・アメリカの例の比較の試み——	765
伊藤 幹治	古宇利島の聖地と折目——沖縄の民俗宗教ノート(2)——	790
中村俊亀智	中国地方タケカゴ細工の一側面 ——日本列島におけるカゴ細工の諸系列(5)——	806
加藤 九祚	コスタ・ヘタグロフ著『オーソバ』——オセチア人の民族学的概説——	828

3巻1号

友枝 啓泰	セニャル儀礼の増殖表象——中央アンデスの家畜増殖儀礼——	1
櫻井 哲男	新・楽器分類法	40
垂水 稔	結界について(1)——日本の境界標示装置——	63
杉本 尚次	ハモンド島(トレス海峡)の村落と住居	95

3巻2号

佐々木高明	新粟のチマキと豊獵の占い——ルカイ族・バイワン族のアワ祭り抄——	119
石毛 直道	ハルマヘラ島, Galela族の食生活	159
山本 順人	ハルマヘラ島, Galela族の食生活調査データのコンピュータ処理について ——食生活分析システム“MEAL”——	271
祖父江孝男・大給 近達・中村俊亀智・大塚 和義	物資文化研究の方法をめぐって	280

3巻3号

関本 照夫	農業をめぐる人のカテゴリーと相互関係——中部ジャワの一事例——	345
吉田 集而	トバ・バタック族における病気の民俗分類	416
松澤 員子	Limau村の家族, 親族, 村落の構造——ハルマヘラ調査ノート——	465
大胡 修	Limau村の漁撈活動——ハルマヘラ調査ノート——	486
端 信行	サンゴ礁海域における磯漁の実態調査中間報告(1) ——石垣市登野城地区漁民社会の若干の分析——	520

須藤 健一	サンゴ礁海域における磯漁の実態調査中間報告 (2) ——石垣市登野城地区漁民社会の潜水漁法——	535
黒田 悦子	ミへの歴史と内なる“歴史” ——Apuntes sobre la Historia de los Mixes de la Zona Alta, Oaxaca, México 後記——	557
RUDDLE, Kenneth	The Geographical Distribution of Sago-Producing Palms	572
EGUCHI, Paul Kazuhisa	A Brief Account of the Life of Zigla according to Musgum Tradition	595

3 巻 4 号

竹村 卓二	過山ヤオ族の二つの起源神話〈槃瓠〉と〈渡海〉 ——種族的アイデンティティの生成と淘汰——	615
阪本 寧男	台湾南部山地およびバタン諸島のアワの特性とその民族植物学的考察	682
大貫 良夫	アンデス高地の環境利用——垂直統御をめぐる問題——	709
和田 完	オロッコ族の病気に対する呪符	734
垂水 稔	結界について (II) ——境界的結界——	749
ISHII, Yoneo (ed.)	A Preliminary Bibliography for the Study of Customary Laws of Southeast Asia and Taiwan	780

4 巻 1 号

松山 利夫	明治初期の飛騨地方における堅果類の採集と農耕	1
杉田 繁治	民族学研究における情報処理——コンピュータ民族学について——	24
川瀬 豊子	Haxāmaniš-朝初期における小家畜管理	43
杉本 尚次	九州山地の民家——椎葉・米良地域を中心に——	79
伊藤 幹治	沖縄本島北部農村の「門中」とその論理 ——沖縄の民俗宗教ノート (3) ——	117
中村俊亀智	国立民族学博物館所蔵の東南アジア島嶼部採集のカゴ細工について	130

4 巻 2 号

石森 秀三	サタワル島の数占い——その基本体系について——	157
須藤 健一	カヌーをめぐる社会関係 ——ミクロネシア、サタワル島の社会人類学的調査報告——	251
秋道 智彌	明治初期・飛騨地方における生産魚類の分布論的研究	285
中村俊亀智	国立民族学博物館所蔵の巻きカゴ細工、とくに国内資料について	340
小川 了	西アフリカ収集調査行から	358

4 巻 3 号

大胡 修	島根半島一漁村における漁撈活動	379
加藤 九祚	モンゴル人民共和国の伝統的物質文化 ——ビャトキナ著『モンゴル人民共和国のモンゴル人』から——	404

坪郷 英彦	国立民族学博物館所蔵の第一次東南アジア稲作調査団採集の カゴ細工について……………	469
杉本 尚次	ヨーロッパの民俗学・民族学博物館——1978年夏の訪問記録から—— ……	493
和田 正平	国立民族学博物館西アフリカ学術調査概報……………	525

4巻4号

福井 勝義	色彩の認知と分類——東アフリカの牧畜民Bodi族—— ……	557
黒田 悦子	復活祭をめぐる儀礼の過程の変形と意味 ——メソ・アメリカの民俗的想像力との出会い—— ……	666
守屋 毅	家元制度——その形成をめぐって—— ……	709
野村 雅一	「文明化」についての試論（上） ——ノルベルト・エリアス『文明化の過程』に寄せて—— ……	738
大丸 弘	現代和服の変貌——その設計と着装技術の方向に関して—— ……	770
中村俊亀智	国立民族学博物館所蔵の曲物細工について……………	798
Kenneth RUDDLE	The Crisis in Dryland Pastoral Economies: An Essay in Applied Human Ecology ……	821

5巻1号

増田 昭三	ペルー南部における海岸と高地の交流……………	1
大貫 良夫	南部ペルーのアンデス西斜面における環境利用……………	44
藤井 龍彦	南部ペルーアンデス西斜面地域の先スペイン文化……………	83
山本 紀夫	中央アンデス南部高地の環境利用 ——ペルー、クスコ県マルカバタの事例より—— ……	121
佐藤 信行	中央アンデス南部農村の家族、親族とアイユウ ——姻族（qata/q'ačun）を中心に—— ……	190
友枝 啓泰	中央アンデスの民話とアマゾンの神話——栽培植物・労働・死の起源—— ……	240
Franklin PEASE, G. Y.	Las Relaciones entre las Tierras Altas y la Costa del Sur del Perú: Fuentes documentales ……	301

5巻2号

中牧 弘允	ハワイにおける日系霊能者と民間信仰——オアフ島の女性霊能者の事例—— ……	317
関本 照夫	二者関係と経済取引——中部ジャワ村落経済生活の研究—— ……	376
長野 泰彦	チベット語の色彩語彙……………	409
及川 昭文・宮本 定明・小山 修三	貝塚データベース——その作成と応用—— ……	439
八村廣三郎	民族学データの統計的解析のための汎用ソフトウェアシステム ——民具データへの応用を中心として—— ……	471
杉本 尚次	ヨーロッパ民家の民族学的・地理学的研究 ——野外博物館の民家を中心として—— ……	493
AKIMICHI, Tomoya	A Note on Palauan Food Categories: <i>Odóim</i> versus <i>Ongráol</i> ……………	593

5 卷 3 号

秋道 智彌	Satawal 島における伝統的航海術——その基本的知識の記述と分析——	617
煎本 孝	チペワイアンのトナカイ狩猟活動系——生態人類学的視点から——	642
小川 了	フルベ族の牧畜と農耕をめぐる諸問題 ——シェンゲルベ・グループの生業に関する民族誌的研究——	667
小山 修三	コーヒー・ドーナツ・プロジェクト ——心理の図形化手法についての研究ノート——	712
西村 綏子	国立民族学博物館所蔵の労働衣服——国内収採集の上半衣について——	729
日浅治枝子	国立民族学博物館所蔵の労働衣服——国内収採集の下半衣について——	751
山崎 光子	国立民族学博物館所蔵の労働衣服——とくに刺子の形態・染織の分析——	778
RUDDLE, Kenneth	A Preliminary Survey of Fish Cultivation in Ricefields, with Special Reference to West Java, Indonesia	801

5 卷 4 号

吉田 集而	指示詞にみられる空間分割の類型とその普遍性	833
山本 紀夫	アンデス地域, トトラの民族植物誌	951
須藤 健一	母系社会における忌避行動 ——ミクロネシア・サタワル社会の親族体系 (1) ——	1008
友枝 啓泰	セニャル儀礼の呪物イリヤ——中央アンデスの家畜増殖儀礼——	1047

6 卷 1 号

栗田 靖之・八村廣三郎	海外駐在員の生活と意識調査報告	1
秋道 智彌	“悪い魚”と“良い魚”——Satawal 島における民族魚類学——	66
小川 了	フルベ族, ジェンゲルベ・グループの移牧に関する事例報告	134
森田 恒之	国立民族学博物館の展示と保存環境に関する検討 ——異常環境の発見を主として——	159
中村俊亀智	背中あての諸形態——国立民族学博物館所蔵の標本資料によって——	183

6 卷 2 号

祖父江孝男	県民性再考 ——文章完成法テストにあらわれた日本人パーソナリティの地域差——	217
西田 正規	縄文時代の人間-植物関係——食糧生産の出現過程——	234
重松真由美	チノギ賽神における祖上と神霊——韓国京畿道楊州郡K洞の事例——	256
伊東 一郎	言語的プリコラージュとしてのフォークロア ——ロシア・フォークロアにおける語源的文彩 (figura etymologica) ——	283
山崎 光子	国立民族学博物館所蔵のドンザ——形態, 材質, 染織の分析——	319

6巻3号

小山 修三・松山 利夫・秋道 智彌・藤野 淑子・杉田 繁治	
『斐太後風土記』による食糧資源の計量的研究	363
大森 康宏	パリの日本人学校における文化背景の異なる生徒をめぐって
	597

6巻4号

須藤 健一・SAUCHOMAL, Sabino	
カヌーと航海にまつわる民話	
——ミクロネシアSatawal島の伝統的航海術の外延——	639
伊東 一郎	スラヴ人における人狼信仰
	767
黒田 悦子	生業、市、商人——オアハカ地方経済の中のミヘ社会素描（メキシコ）——
	797
森田 恒之	文化遺物における製作技術調査法としての紫外線側光の利用について
	815
SAKURAI, Tetsuo	The Classification of Musical Instruments Reconsidered
	824

7巻1号

杉本 尚次	トレス海峡地域の集落と住居
	1
周 達生	客家文化考——衣・食・住・山歌を中心に——
	58
馬淵卯三郎・八杉 佳穂	
	チャフルのイシル語歌謡
	139
WATANABE, Hitoshi	Systematic Classification of the Pit Dwellings of Modern
	Food-gatherers from an Ecological Point of View
	169

7巻2号

垂水 稔	ムラという結界——滋賀県高島郡朽木村の事例をめぐって——
	197
重松 伸司	南インドの右手・左手集団と祭祀騒擾
	——カースト伝承と儀礼を中心に——
	303
杉藤 重信	家屋の建築・修復に関する伝統的知識と技術
	——ミクロネシア・エラート環礁の場合——
	349

7巻3号

和田 祐一	北ハルマヘラ諸語の子音対応とガレラ語の示す古音
	423
NAGANO, Yasuhiko	A Historical Study of gLo Tibetan
	472
八杉 佳穂	マヤ文字の言語
	514
柴田 紀男	『ムラユ王統記』におけるマレー語動詞文の構造
	534
吉田 集而	会話場面における人の概念の類型論 (I)
	——人称代名詞のeticな成分の再考——
	550
荒井 芳廣	ブラジル北東部における民衆の小冊子
	——リテラトゥーラ・デ・コルデル——
	585
藤野 淑子	明治初期における山村の食事と栄養
	——『斐太後風土記』の分析を通じて——
	632

及川 昭文・Raymond, VÉZINA	博物館とコンピュータ……………	655
-----------------------	-----------------	-----

7 卷 4 号

小川 了	フルベ語色彩語彙——色彩基礎語彙に関する一考察——……………	689
山本 紀夫	中央アンデスの根栽類加工法再考 ——とくにペルー・アンデスの水さらし技法をめぐって——……………	737
崎山 理	『マライ編年史』の代名詞——KWICにもとづく比較研究——……………	788

8 卷 1 号

千葉 正士	法学における慣習法概念……………	1
石井 米雄	タイの伝統法——『三印法典』の性格をめぐって——……………	18
北原 淳	『マンラーイ法典』における土地侵犯と所有……………	33
吉川 利治	東北タイ及びラオスの古代法—— <i>Kotmai Khosarat</i> を中心に——……………	51
中牧 弘允	日系キリスト教会の展開と日系キリスト教徒の意識 ——カリフォルニア州サクラメントの事例——……………	73
TACHIKAWA, Musashi	A Hindu Worship Service in Sixteen Steps, <i>Shoḍaśa-upacāra-pūjā</i> ……………	104

8 卷 2 号

畑中 幸子	部族社会における近代政治の過程……………	197
千葉 徳爾・三枝 幸裕	中部日本白山麓住民の季節的放浪慣行——牛首地区の事例を中心に——……………	253
吉田 集而	会話場面における人の概念の類型論 (II) ——その類型と類型的世界的分布——……………	307
庄司 博史	ウラル語族における等位表現の類型……………	424
小谷 凱宣	ベリンジアからみた新大陸文化起源の諸問題……………	489

8 卷 3 号

黒田 悦子	庶民生活の論理と表現 ——スペイン、南部エストレマドゥーラの町の例から——……………	531
大塚 和夫	下エジプトの親族集団内婚と社会的カテゴリーをめぐる覚書……………	563
中村俊亀智	アチック・ミュージアムの足どり——収蔵原簿の分析から——……………	587
小川 了	「悪童物語」の展開……………	613
加藤 九祚	カザフ族の遊牧生活……………	653

8 卷 4 号

大丸 弘	西欧人のキモノ認識……………	707
中村俊亀智	アチック民具研究の道すじ——収蔵状況とのかねあいにおいて——……………	839
小川 了	セネガルの舞踊と日常動作の関連に関する研究ノート……………	865

9巻1号

小山 修三・杉藤 重信	縄文人口シミュレーション……………	1
中村俊亀智	アチック・ミュージアムのあとに ——財団法人日本民族学協会附属民族学博物館のこと—— ……	41
吉田 集而	会話場面における人の概念の類型論 (III) ——類型の発達とその機構—— ……	59
木村 法光	カザフの木工調度——その接着・接合について—— ……	133
山本 真鳥	ファレアタの地縁組織——サモア社会における称号システムの事例研究—— ……	151

9巻2号

須藤 健一	サンゴ礁の島における土地保有と資源利用の体系 ——ミクロネシア、サタワル島の事例分析—— ……	197
秋道 智彌	ニューギニア低地・ギデラ族における小児の病気と治療……………	349
大塚 和夫	アッラー、神、アラーの神——イスラームの日本的理解をめぐる一考察—— ……	383
大森 康宏	民族誌映画の撮影方法に関する試論……………	421
Kenneth Ruddle	Normative Models and Human Behavior: Some Theoretical Issues in Household Resource Use ……	459

9巻3号

長野 泰彦	嘉戎語の動作の様態を示す接辞……………	483
永ノ尾信悟	古代インド祭式文献に記述された穀物料理……………	521
大丸 弘	衣服標本属性論——MCD標本シソーラス——I 固有属性 ……	533
大森 康宏	民族誌映画の編集にかかわる試論……………	571
柴田 紀男	文字使用の目的……………	593
小川 正広	ホメロスの詩と文字使用……………	609
佐藤 進	李朝の韻書と漢詩押韻の変革——文字使用政策の一例として——……………	631

9巻4号

秋道 智彌	サタワル島における伝統的航海術の研究 ——島嶼間の方位関係と海域名称—— ……	651
長野 泰彦	嘉戎語の人称接辞……………	711
梶 茂樹	多言語使用と手紙——ザイール共和国キザ湖西岸の事例から—— ……	747
安田 喜憲	環日本海文化の変遷——花粉分析学の視点から—— ……	761
小林 致広	アステカ社会における衣裳と職務——アステカ王権に関する一考察—— ……	799
中山 和芳	ポナベ島におけるキリスト教の受容をめぐる社会変化……………	851

10巻1号

藤井 龍彦・友枝 啓泰	中央アンデスの農民と牧民の結婚 ——バンパマルカ教区 (アプリアマク県) 婚姻登録の分析—— ……	1
-------------	--	---

木村 秀雄	ボリビア北西部・アンデス東斜面のケチュア農村における環境利用 ——アマレテ村の事例——	43
八杉 佳穂	ユカテクマヤ語の正書法の歴史——マヤ人の文字使用との関連において——	93
中谷 英明	「スバシ写本」の願望法語尾——仏教サンスクリット成立の一局面——	111
大丸 弘	現代和服の変貌 (II) ——着装理念の構造と変容——	131

10 卷 2 号

宮本 勝	ミンドロ島ハヌノオ・マンヤン族の‘裁判人’	243
大塚 和夫	下エジプトのムスリムにおける結婚の成立過程 ——カリエービーヤ県ベンハー市とその周辺農村の事例を中心に——	273
細川 弘明	アンデス東斜面溪谷部, ケチュア農民の生業と交易活動	309
車 政弘	国立民族学博物館所蔵の韓国の収納家具——その技術とデザイン——	365
大林 太良	熊祭の歴史民族学的研究——学史的展望——	427
佐々木史郎	クマ祭に集まる人々 ——狩猟儀礼に表出するエヴェンキ族の社会構成原理について——	451
SEKINE, Yasumasa	“Pollution”, “Purity” and “Sacred”: The Ideological Configuration of Hindu Society	481

10 卷 3 号

櫻井 哲男	巫俗儀礼の音——韓国濟州島の事例から——	551
長野 泰彦	嘉戎語の能格性	575
西田 正規	中緯度森林の定住民	603
吉田 集而	バプアニューギニア, イワム族の農耕に関する民俗分類の予備的報告	615
大丸 弘・高橋 晴子	服装専門検索語辞書 (MCD シソーラス) の構造	681
嶋本 隆光	12 イマーム派シーア主義におけるイマーム・アリーの位置について ——イラン人ムスリムの場合——	725
森田 恒之	民族資料の展示におけるクールビームライト照明の影響について (1)	755
Kenneth Ruddle	Labor Supply and Demand in a Complex System: Integrated Agriculture-Aquaculture in the Zhujiang Delta, China	773

10 卷 4 号

須藤 健一	ミクロネシアにおける母系制社会の変質 ——トラック語圏社会の出自集団の構造——	827
秋道 智彌	サタワル島における伝統的航海術の研究 ——洋上における位置確認方法とエタック (yeták) について——	931
小杉 泰	現代イスラームにおける宗教勢力と政治的対立 ——カイロにおけるアズハル=フセイン複合体とサラフィー主義——	959
永ノ尾信悟	ブラーフマナ文献の祭式解釈 ——古代インド季節祭 Cāturmāsya を例として——	1001
庄司 博史	チェレミス語とヴォチャーク語における引用小辞 ——ウラル諸語におけるチュルク的引用表現——	1069

中村俊亀智	民具研究の展開——1960年以後——	1103
清水 芳見	中東・北東アフリカに見られる憑霊信仰ザールの伝播経路に関する一考察	1123
Kenneth Ruddle	Rural Reforms and Household Economies in the Dike-Pond Area of the Zhujiang Delta, China	1145

11 巻 1 号

石毛 直道	東アジアの魚醬——魚の発酵製品の研究 (1) ——	1
伊藤 幹治	東北農村におけるキリスト教の受容	43
杉田 繁治	コンピュータ民族学序説	57
栗本 英世	雨と紛争——ナイル系バリ社会における首長殺しの事例研究——	103
八杉 佳穂	マヤ文字の分析I——ナランホ——	163
杉本 尚次	ヨーロッパの野外博物館——その民族学的・地理学的研究——	263
Kenneth Ruddle, Deng Hanzeng and Liang Guozhao	Energy Exchanges and the Energy Efficiency of Household Ponds in the Dike-Pond System of the Zhujiang Delta, China	323

11 巻 2 号

崎山 理	オーストロネシア語族とパプア諸語の言語接触——とくに語順変化について——	355
関本 照夫	ジャワ神秘主義の民族誌	383
煎本 孝	ラダック王国史の人類学的考察——歴史-生態学的視点——	403
栗田 靖之	ブータン・ヒマラヤの生業形態の多様性	457
渡辺 仁	狩猟採集民集落平面形の体系的分類——社会生態学的・進化的研究——	489
君島 久子	中国文献にみる龍舟競渡——方志資料を中心として——	543

11 巻 3 号

石毛 直道	東アジア・東南アジアのナレズシ——魚の発酵製品の研究 (2) ——	603
浅川 滋男	住空間の民族誌——中国江南の伝統的住居をめぐる——	669
古林 清一	近代エジプトにおけるスーフィー教団について	781

11 巻 4 号

長野 泰彦	ネワール語の能格現象	811
西 義郎	現代チベット語方言の分類	837
周 達生	中国の高床式住居——その分布・儀礼に関する研究ノート——	901
Joseph M. Luyten	XVI and XVII Century Relationships among Portuguese and Dutch and their Reflexions in Japan	979
Kenneth Ruddle	The Supply of Marine Fish Species for Fermentation in Southeast Asia	997

12 卷 1 号

RUDDLE, Kenneth	The Ecological Basis for Fish Fermentation in Freshwater Environments of Continental Southeast Asia: with Special Reference to Burma and Kampuchea	1
藤井 龍彦	中央アンデスの定期市——ボリビア領ラパス県高地部の事例——	49
黒田 悦子	メキシコの仮面——芸能による分類の試み——	129
大丸 弘・高橋 晴子	専門図書館における非図書資料の位置づけ ——服装情報サービスの基本技術——	175
HAYASHI, Takao	Ritual Application of Mensuration Rules in India: An Edition of Ganeśa's <i>Kuṇḍasiddhyudāhṛti</i> with Mathematical Commentary	199

12 卷 2 号

石毛 直道, ケネス・ラドル	東南アジアの魚醤——魚の発酵製品の研究 (5) ——	235
吉本 忍	手織機の構造・機能論的分析と分類	315
出口 晶子	剝船発達諸形態の分類と地域類型 ——日本とその隣接地域を中心として——	449
和田 完	アイヌのお産——和田文治郎遺稿——	499
大塚 和義	19世紀中葉以前におけるアイヌの通過儀礼 ——松浦武四郎筆画『蝦夷風俗画誌』稿本を中心に——	513

12 卷 3 号

佐々木高明	東南アジアの焼畑における陸稲化現象——その実態と類型——	559
松山 利夫	アーネムランド・アボリジニ, ジナン族の狩猟と食物規制	613
瀬川 昌久	械闘と村落連合——香港新界中西部5郷の事例より——	647
片倉もところ	異文化環境におけるムスリム ——カナダにおけるアラブムスリム社会の形成——	681
守屋 毅	ピーボディ科学アカデミーの成立——モース研究の一環として——	727
水谷 忠士・君塚 明光・ケネス・ラドル・石毛 直道	魚醤の化学分析と「うま味」の文化圏——魚の発酵食品の研究 (6) ——	801

12 卷 4 号

八杉 佳穂	マヤ文字の分析II——パレンケ——	871
菅原 和孝	セントラル・カラハリ・サンにおける訪問者と居住者の社会関係と 対面相互行為——!Koi !kom定住地での訪問活動の観察より——	1031
江口 重幸	滋賀県湖東一山村における狐憑きの生成と変容 ——憑依表現の社会-宗教的, 臨床的文脈——	1113
庄司 博史	文字創製・改革にみた中国少数民族政策	1181

13巻1号

山下 晋司	国家的過程のなかの民族文化 ——インドネシア、トラジャにおける伝統的文化の現代的位相—— …………… 1
小山 修三	オーストラリア・アボリジニ社会再編成の人口論的考察…………… 37
古谷 嘉章	クーラとタンボール——北部ブラジルの憑霊カルトにおける成巫過程——…………… 69
秋道 智彌	航海術と海の生物——ミクロネシアの航海術におけるPwukofの知識—— …………… 127

13巻2号

杉島 敬志	舞台装置としての家屋 ——東インドネシアにおける家屋のシンボリズムに関する一考察—— …………… 183
高谷 紀夫	祭祀と地域性——ビルマ・ランゲーン研究から——…………… 221
深澤 秀夫	遍在する邪術、見えない邪術 ——北部マダガスカル ツイミヘティ族社会における ある邪術告発についての一考察——…………… 253
渡辺 仁	北太平洋沿岸文化圏——狩猟採集民からの視点I—— …………… 297
斎藤 晨二	「ヤクートと家畜」の原像を求めて——オロンホを読む—— …………… 357
石毛 直道・崎山 理	魚醬とナレズシの名称——魚の発酵製品の研究(7)—— …………… 383
松山 利夫	アーネムランド・アボリジニ、ジナン族の星まつり ——国立民族学博物館海外映像音響資料収集の記録——…………… 407

13巻3号

田中 雅一	カーリー女神の変貌——スリランカ・タミル漁村における村落祭祀の研究—— …… 445
足立 明	シンハラ農村の労働交換体系…………… 517
和田 正平	トーゴ北部諸族の技術誌をめぐる諸問題 ——パレオニグリティックを中心に——…………… 583
林 隆夫	方陣の歴史——16世紀以前に関する基礎研究——…………… 615

13巻4号

大林 太良	夸父と造父——構造分析の試み—— …………… 727
朝倉 敏夫	韓国祖先祭祀の変化——都市アパート団地居住者を中心に—— …………… 741
櫻井 哲男	濟州島における歌の形成——音から音楽へ—— …………… 787
松園万亀雄	子の監護と婚資返却——グシイにおける離婚訴訟の分析—— …………… 807
竹沢尚一郎	「水の精霊」とイスラム——ホゾ族における社会変化と宗教変化——…………… 857
Michael L. Sherard	Preliminary Remarks on the Phonological Implications of Word Play in Modern Shanghai …………… 897

14巻1号

林 行夫	ダルマの力と帰依者たち——東北タイにおける仏教とモータム—— …………… 1
------	--

小馬 徹	両手の拳, 社会, 宇宙 ——手の指による数の指示法に組み込まれたキプシギスのコスモロジー——	117
黒田 悦子	チカーノの来た道——その歴史的経緯——	167
石毛 直道	魚醤の起源と伝播——魚の発酵製品の研究(8)——	199

14 卷 2 号

八杉 佳穂	中米の言語の語順の類型論的研究	259
永ノ尾信悟	Mahādevapūjā——Mithilā 地方の事例報告——	379
塚田 誠之	中国広西のチュアン(壮)族・ヤオ(瑤)族と漢族との 政治 = 文化的関係の比較考察——1368-1949年における——	453

14 卷 3 号

八杉 佳穂	中米諸語の数体系	519
佐々木史郎	アムール川下流域諸民族の社会・文化における清朝支配の影響について	671

14 卷 4 号

松山 利夫	アーネムランド・アボリジニの生活史 ——ジナン族ガマディ・アウトステーションに居住する2人の男性の事例——	783
片倉もところ	異文化環境のアラブムスリム ——ヴァンクーヴァーのエジプト人ムスリムの事例研究——	821
Luis Millones	En Busca de Santa Rosa: Reflexiones en Torno a una Biografía Duradera	891
Jorge A. Flores Ochoa	La Fiesta de los Cuzqueños: la Procesión del Corpus Christi	909

15 卷 1 号

吉本 忍	インドネシアにおける手織機の類型論的研究——(1)形式と分布——	1
小馬 徹	死と蘇生——ケニアのテリック人とティリキ人の死の文化の変遷——	115
八杉 佳穂	中米諸語の序数詞	205
西 義郎	ヒマラヤ諸語の分布と分類(上)	265

15 卷 2 号

藤井 龍彦	ボリビアの農民——農民の「行動の記録」の分析(その1)——	349
田中 雅一	司祭と霊媒 ——スリランカ・タミル漁村における村落祭祀の分業関係をめぐって——	393
佐久間留理子	インド密教の図像学的資料(1) ——『サーダナ・マラー』における獅子吼観自在の成就法——	511

15 卷 3 号

杉島 敬志	リオ族における農耕儀礼の記述と解釈……………	573
庄司 博史	サーミ民族運動における言語復権の試み……………	847

15 卷 4 号

黒田 悦子	フェリアの変貌 —スペイン、エストレマドゥーラの家畜・産業・祝祭市— ……	917
久保 正敏	歌謡曲の歌詞に見る旅—昭和の歌謡史・私論— ……	943
Toshifumi Gotō	Materialien zu einer Liste altindischer Verbalformen: 1. <i>amⁱ</i> , 2. <i>ay/i</i> , 3. <i>as/s</i> ……	987
森 雅秀	インド密教儀礼における水……………	1013
Shunzo Onoda	Abbatial Successions of the Colleges of gSang phu sNe'u thog Monastery ……	1049
Musashi Tachikawa	A Study of the <i>Vajradhātu-maṇḍala</i> (1) : Modern Line-drawings depicted according to the <i>Niṣpannayogāvalī</i> ……	1073

16 卷 1 号

Tomoya Akimichi and Osamu Sakiyama	Manus Fish Names ……	1
西 義郎	ヒマラヤ諸語の分布と分類 (中) ……	31
大塚 和夫	ナイル川流域における土地利用と灌漑農業をめぐる社会的諸関係 —北スーダン・ナイル県の一村落の事例報告— ……	159

16 卷 2 号

森 明子	オーストリア農村における「家の墓」と女性のサービス……………	223
佐々木史郎	アムール川下流域とサハリンにおける文化類型と文化領域 —レーヴィン、チェボクサロフの「経済・文化類型」と 「歴史・民族誌的領域」の再検討— ……	261
Yoshiho Yasugi	A Study of the Mixe Language of the Eighteenth Century: <i>Confesonario en lengua Mixe</i> by Quintana ……	311

16 卷 3 号

藤井 龍彦	ボリビアの農民—農民の「行動の記録」の分析 (その2) —……………	521
小長谷有紀	モンゴルにおけるウマ, ウシ, ヒツジの搾乳儀礼 —祝詞にもとづく再構成の試み— ……	589
中山 和芳	首長制とキリスト教—ミクロネシア, ポーンペイ島とコシャエ島の事例— ……	633
Toshifumi Gotō	Materialien zu einer Liste altindischer Verbalformen: 4. <i>dogh/dugh/doh/duh</i> , 5. <i>sav/su</i> , 6. ¹ <i>savⁱ/sū</i> , 7. ² <i>(savⁱ)/sū</i> ……	681

16 卷 4 号

崎山 理	マダガスカルの民族移動と言語形成 ——民俗語彙・植物名称の意味的変遷から——	715
近藤 雅樹	紀年銘唐箕の形態分類	763
宮脇 幸生	モロコシの多様化選択と品種の生成 ——エチオピア西南部におけるクシ系農牧民エルボレの事例から——	843

17 卷 1 号

山下 晋司	「劇場国家」から「旅行者の楽園」へ ——20世紀バリにおける「芸術-文化システム」としての観光——	1
松田 凡	採取民コエグの歌とダンス ——エチオピア西南部、オモ川下流平原の民族間関係——	35
稗田 乃	コエグの人と魚——環境認識の習得——	97
Tomoya Akimichi	The Surviving Whale-Tooth: Cultural Significances of Whale Products in Oceania	121
Luis Millones, y Hiroyasu Tomoeda	La Danza de la Degollación del Inca	143

17 卷 2 号

塚田 誠之	チュワン族の年中行事に関する史的考察——成立過程を中心に——	169
尹 紹亭	基诺族的刀耕火种——兼与云南其它刀耕火种民族的比较——	253
瀬川 昌久	香港新界における宗族の発展と墓地風水——族譜を通じた分析——	305
高橋 慶治	現代チベット語における動詞の分類	343
佐藤 寛	「国民的出稼ぎ現象」の社会・経済的影響——北イエメンの20年——	369

17 卷 3 号

清水 昭俊	永遠の未開文化と周辺民族——近代西欧人類学史点描——	417
江口 一久	カメルーン北部・フルベ族の挨拶の言語表現	489
チャティップ・ナートスパー	タイにおける共同体文化論の潮流	523
Onuigbo G. Nwoye	An Overview of Igbo Oral Literature	559
Galina V. Zubko	Au sujet de l'origine des Peuls, d'après les légendes	601

17 卷 4 号

Yoshiho Yasugi	An Areal-Typological Study of Phonological Systems of Middle American Indian Languages	627
朝倉 敏夫	現代韓国社会における〈伝統文化〉の研究の現状と展望	809
Dai Qingxia	An Observation on the Genesis and Development of Tibeto-Burman Tones	851

18巻1号

崎山 理	オセアニア・琉球・日本の国生み神話と不完全な子 ——アマンの起源——	1
端 信行	カメルーン高地農民の経済生活——その変容のメカニズム——	15
田中 雅一	漁業儀礼考——スリランカ・タミル漁村における地曳網漁をめぐって——	47
日比野光敏	近江のフナズシの「原初性」 ——わが国におけるナレズシのプロトタイプをめぐって——	99
Toshifumi Gotō	Materialien zu einer Liste altindischer Verbalformen: 8. <i>ard/ɾd</i> , 9. <i>ṛṣ</i> , 10. <i>ukṣ</i> , 11. <i>eṣ/iṣ</i> , 12. <i>eṣ^l/iṣ^l</i> , 13. <i>ok/oc/uc</i> , 14. <i>kaṇ</i> , 15. <i>vakṣ/ukṣ</i>	119
Catherine VerEecke	Conflict and Continuity in an African-Islamic Polity: Adamawa Emirate (Nigeria)	143

18巻2号

杉島 敬志	二種類の植物隠喩——リオ族における二重出自と非対称縁組——	183
名久井文明	東日本における樹皮利用の文化——加工技術の体系と伝統——	221
黄 才貴	侗族住居空間構成的調査報告	303
Paul Hockings	Ethnic Identity in a Complex Society: The Badaga Case	347

18巻3号

南 真木人	魚毒漁の社会生態——ネパールの丘陵地帯におけるマガールの事例から——	375
松山 利夫	オーストラリア連邦と先住民アボリジニ ——アボリジニ政策と人々の生活体験に関するノート——	409
太田 好信	オリエンタリズム批判と文化人類学	453
Etsuko Kuroda	Los Mixes ante la Civilización Universal: Reseña de las Observaciones y Reflexiones sobre los Cambios de la Sierra Mixe en los 1990s	495

18巻4号

秋道 智彌	航海術と海の空間認識——中央カロリン諸島・Satawal島における事例——	543
久保 正敏・大島 新一・日比野光敏・和田 光生	篠田資料・鮭アンケートの予備的分析	593
西川 麦子	バングラデシュ農村における一方的贈与と社会関係 ——タンガイル県、M村のムスリム集落の事例より——	649
Said A. M. Khamis	From Oral to Written Form: A Tentative Study of the Development of Swahili Poetry	697

19巻1号

崎山 理	ヒリモトゥ語の類型：辞順と後置詞 ——KWICの資料に基づく通言語的研究——	1
後藤 明	ハワイ諸島の国家形成と人口論的基盤	19

聶 莉莉	中国農民社会における儒教の影響の実態 ——東北地方の現地調査に基づいて——	61
金 尚寶	東アジアにおける儀礼的饗宴——その構造の比較研究——	95

19 卷 2 号

安村 直己	植民地期メキシコにおけるインディオ騒動の政治経済学 ——1774年トラルマナルコ村（チャルコ地方）の事例——	173
永渕 康之	1917年バリ大地震——植民地状況における文化形成の政治学——	259
慶田 勝彦	ギリアマにおける妖術告発とパパイヤのキラホをめぐる噂	311

19 卷 3 号

林 勲男	フィーとウダ・ラースあるいは骨と肉 ——ベダムニ族の社会構造と世界観——	359
岸上 伸啓・スチュアート ヘンリ	現代ネットリック・イヌイット社会における社会関係について ——カナダ国北西準州ペリーベイ村の事例を中心に——	405
加藤 隆浩	ベルー・クスコ市におけるクルス・ベラクイの変容	449
Komei Hosokawa	Retribalization and Language Mixing: Aspects of Identity Strategies among the Broome Aborigines, Western Australia	491

19 卷 4 号

大塚 和義	ニヴフのアザラシ猟と送り儀礼	543
小門 典夫	涼山彝族の口誦詩にみえる漢族のイメージ	587
Chan Kwok Bun and Claire Chiang See Ngoh	Values and Chinese Immigrant Entrepreneurship in Singapore	633

20 卷 1 号

Osamu Sakiyama	Decipherment and Studies of Early Palauan Word-Lists Collected since the Eighteenth Century	1
徐 平	羌村社会结构分析	49
James A. Matisoff	Sino-Tibetan Numerals and the Play of Prefixes	105

20 卷 2 号

Eisei Kurimoto	Coping with Enemies: Graded Age System among the Pari of Southeastern Sudan	261
大林 太良	中国辺境諸民族の文化と居住地 ——エーバーハルト説の紹介と評価（そのI、概観）——	313
井口 淳子	中国・口承長篇物語のテキストと語り ——語りもの「樂亭大鼓」にもとづいて——	357

20 巻 3 号

園田 直子	スプリンクラー事故で冠水した衣類等に施した緊急保存処置に関する報告 ——阪神・淡路大震災による被災資料の例——	429
大林 太良	中国辺境諸民族の文化と居住地 ——エーバーハルト説の紹介と評価（そのII. 南方辺境諸民族）——	455
菊池 秀明	明清期の中国広西東南部における中流宗族の動向 ——平南県胡以晄一族の族譜分析を中心に——	501
加藤 昌彦	ポー・カレン語諸方言の音韻体系——西部方言1種と東部方言2種——	547

20 巻 4 号

田村 克己	ビルマの建国神話について	607
江口 一久	冗談関係にあるもののあいだでかわされる冗談 ——北部カメルーン・フルベ族の場合——	647
吉岡 政徳	北部ラガの人生儀礼における贈与交換	671
村瀬 智	「つぎはぎジャケット」と「ふんどし」 ——ベンガルのパウルの宗教と宗教儀礼——	719
Akitoshi Shimizu	Current Trends of Out-Migration from Kosrae and Pohnpei, the Federated States of Micronesia	753

21 巻 1 号

平井京之介	北タイの工場社会における権力と相互行為 ——日系文具メーカーの事例から——	1
三島 禎子	ソニンケ社会における家族の連帯と規模——出稼ぎをめぐって——	77
近藤 雅樹	足踏み式回転脱穀機の発明——特許資料からみた成立前史——	119
林 俊雄	モンゴリアの石人	177

21 巻 2 号

赤木 攻・秋道 智彌・秋篠宮文仁・高井 康弘	北部タイ、チエンコーンにおけるブラー・ブック (<i>Pangasianodon gigas</i>) の民族魚類学的考察	293
大林 太良	雲南のクツォン人と北部インドシナの採集狩猟民 ——古い伝統か文化的退化か——	345
小杉 康	物質文化からの民族文化誌的再構成の試み ——クリールアイヌを例として——	391

21 巻 3 号

上杉 富之	ボルネオ・ムルット社会の葬礼に見られる贈与交換と社会関係	513
韓 景旭	中国朝鮮族にみる村の生活——吉林省星火村の調査報告——	569
楊 海英	オルドス・モンゴルの祖先祭祀 ——末子トロイ・エジン祭祀と八白宮の関連を中心に——	635

21 卷 4 号

岸上 伸啓	カナダ・イヌイットの社会・経済変化 ——ケベック州のイヌジュアク村の事例を中心に——	715
朴 銓烈	韓国社会における旅芸人の受け入れられ方	777
小田 亮	ポストモダン人類学の代価——プリコルールの戦術と生活の場的人类学——	807
木下 太志	記録されなかった出生——人口人類学におけるシミュレーション研究——	877
Yoshitaka Terada	Effects of Nostalgia: The Discourse of Decline in <i>Periya Mēlam</i> Music of South India	921

22 卷 1 号

菅原 和孝	記憶装置としての名前 ——セントラル・サン (Guiと Gana) における個人名の民族誌——	1
新免光比呂	農村の宗教対立を通してみた転換期のルーマニア社会	93
後藤 明	実践的問題解決過程としての技術 ——東部インドネシア・ティドレ地方の土器製作——	125
Bachamiya Abdul Hussainmiya	Aspects of Ethnicity among the Sri Lankan Malays	189
Brian A. Victoria	The Role of Nationalism in the “New Buddhism” of the Meiji Period	201

22 卷 2 号

園田 直子	合成素材の分析・識別法に関する基礎研究 ——アルキド絵具を例として——	249
寺田 吉孝	カースト競合の「場」としてのカリスマ的演奏家 ——T.N.ラージャラッティナム・ピッライと南インド古典音楽文化——	283
熊 文彬	西藏江孜白居寺壁画风格及其画境追求	327
内山 純蔵	縄文時代後期の関東地方における漁労活動 ——先史生業活動復元へのGISの応用——	375
口蔵 幸雄・野中 健一・須田 一弘・須田 和代	移住と生業戦略 ——インドネシア、セラム島の農村における生業活動と食物利用——	425
費 孝通	エスニシティの探究——中国の民族に関する私の研究と見解——	461

22 卷 3 号

八杉 佳穂	古典ユカテクマヤ語の逆受動に関する一考察	491
平井京之介	北タイ農村における「仕事」概念の一考察——相互行為と社会関係——	527
聶 莉莉	閩南農村における神々信仰 ——福建省晋江市農村での実地調査に基づいて——	585
Etsuko Kuroda	Apuntes sobre el Pluralismo Religioso y los Protestantes en la Sierra Mixe y la Ciudad de Oaxaca	661

22 卷 4 号

佐々木史郎	18, 19世紀におけるアムール川下流域の住民の交易活動……………	683
庄司 博史	エストニアのペッツェリ領土問題——分断されたセトゥ人をめぐって—— ……	765
佐々木高明・松谷 暁子・李 昆声・阪本 寧男	雲南省劍川県海門口遺跡出土の炭化穀粒をめぐって ——それはヒエではなく、アワであった—— ……	803
渡辺 仁	縄文土偶と女神信仰 ——民族誌的情報の考古学への体系的援用に関する研究 (I) —— ……	829
Yoshio Nishi	The Orthographic Standardization of Burmese: Linguistic and Sociolinguistic Speculations ……	975
Toshifumi Gotō	Materialien zu einer Liste altindischer Verbalformen: 16. <i>chad</i> , 17. <i>chand/chad</i> , 18. <i>chard/chrd</i> , 19. <i>dagh/dhag</i> , 20. <i>dves/dviṣ</i> , 21. <i>bandh/badh</i> , 22. ¹ <i>man</i> , 23. ² <i>man</i> , 24. <i>mnā</i> , 25. ¹ <i>yav/yu</i> , 26. ² <i>yav/yu</i> , 27. <i>sanⁱ</i> , 28. <i>star/str̥</i> , 29. <i>starⁱ/str̥</i> ……	1001

23 卷 1 号

黒田 悦子	チカノ壁画から美術館のための「移動用壁画」へ ——メキシコ系アメリカ人の抵抗の表現 (素描) —— ……	1
古谷 嘉章	芸術／文化をめぐる交渉——グアテマラのインディヘナ画家たち—— ……	35
林 勲男	夢語りの位相——バブアニューギニア、バダムニの霊媒による語り—— ……	95
渡辺 仁	縄文土偶と女神信仰 ——民族誌的情報の考古学への体系的援用に関する研究 (II) —— ……	129
Yoshio Nishi	The Development of Voicing Rules in Standard Burmese ……	253

23 卷 2 号

白川 千尋	ヴァヌアツ・トンゴア社会における称号制度……………	267
深尾 葉子	中国西北部黄土高原における廟会をめぐる社会交換と自律的凝集……………	321
森 雅秀	オリッサ州カタック地区の密教美術……………	359

23 卷 3 号

清水 昭俊	忘却のかなたのマリノフスキー——1930年代における文化接触研究—— ……	543
中川 敏	学校者と出稼ぎ者——エンデの遠近両用眼鏡—— ……	635
Yoshio Nishi	Old Burmese: Toward the History of Burmese ……	659

23 卷 4 号

立川 武蔵	ネワール法界マンダラ図像資料……………	699
P. J. Matthews, J. Tanaka and S. Koyama	The Eighth International Conference on Hunting and Gathering Societies (CHAGS 8) ……	809
Shigeru Kayano	Ainu and the Salmon ……	815

Richard Lee	Hunter-Gatherer Studies and the Millennium: A Look Forward (And Back)	821
Nicolas Peterson	Hunter-Gatherers in First World Nation States: Bringing Anthropology Home	847
Harvey A. Feit	Analyzing and Celebrating Survival in a Globalizing World: Hunters, Others and Us	863

24 卷 1 号

新免光比呂	社会主義国家ルーマニアにおける民族と宗教 ——民族表象の操作と民衆——	1
風間 計博	タピテウエア・サウスにおけるマネアバ（集会所）の多様化 ——外部論理の遮断・変換・摂取——	43
邓 晓华	福建境内的闽，客族群及畲族的语言文化关系比较之试论	107
Yoshiko Goto	Store Food: A Case Study of the Food Supply in an Aboriginal Community from 1988–1995	141

24 卷 2 号

岸上 伸啓	カナダにおける都市在住イヌイットの社会・経済状況 ——モンリオール地区の調査報告を中心に——	205
全 京秀	韓国博物館史における表象の政治人類学 ——植民地主義，民族主義，そして展望としてのグローバリズム——	247
渡辺 仁	縄文土偶と女神信仰 ——民族誌的情報の考古学への体系的援用に関する研究（III）——	291

24 卷 3 号

Osamu Sakiyama	Nominals of Fatamanue, Seram Maluku: A Subgrouping Argument in Central Malayo-Polynesian	467
楊 海英	『チンギス・ハーンの二頭の駿馬』について ——写本と口頭伝承の比較を中心に——	485
三木 美裕	博物館・美術館の来館者研究——アメリカの事例から——	633

24 卷 4 号

Shigeharu Tanabe	Memories Displaced by Ritual: Cognitive Processes in the Spirit Cults of Northern Thailand	707
齋藤 晃	ビルトゥチの処刑——ポリビア・アマゾンの一殺人事件とその記憶——	727
口蔵 幸雄	最適採食戦略——食物獲得の行動生態学——	767
Isao Kumakura, Jane Cobbi and Josef Kreiner	Notes on the Japanese Collection at the Musée de l'Homme, Paris	873

25 巻 1 号

加藤 昌彦	宇都宮方言におけるいわゆる自発を表す形式の意味的および 形態統語的特徴……………	1
赤嶺 淳	熱帯産ナマコ資源利用の多様化 ——フロンティア空間における特殊海産物利用の一事例—— ……	59
河野 本道	アイヌ系住民の都市における動向 ——北海道内二大都市における場合の輻合・拡散現象—— ……	113

25 巻 2 号

野林 厚志	民族考古学的アプローチにもとづくパイワンの罽獵研究 ——動物遺存体の解釈に関する一試論—— ……	151
箭内 匡	マプーチェ社会における口頭性 ——思考と存在の様式としてのコミュニケーションの様式—— ……	177
西 義郎	ヒマラヤ地域のチベット・ビルマ系言語研究の動向 ——回想と現状——……………	203
Weera Ostapirat	Kra: The Thai Least-Known Sister Language ……	235
Andrew Strathern and Pamela J. Stewart	Recent Ethnological Studies from the Highlands of Papua New Guinea ……	271

25 巻 3 号

岸上 伸啓	北米北方地域における先住民による諸資源の交易について ——毛皮交易とその諸影響を中心に—— ……	293
桑山 敬己	アメリカ文化人類学教科書の内容分析 ——1990年代前半からの変化を中心に—— ……	355
井口 欣也	神殿と図像——中央アンデス地帯形成期のクントゥル・ワシ神殿における 図像表現の変容プロセス—— ……	385
松山 利夫	オーストラリアにおけるセンサスと先住民集計に関するノート……………	433

25 巻 4 号

崎山 理	オーストロネシア語族と日本語の系統関係……………	465
西尾 哲夫	中東イスラム世界における「聖者」発生の社会的・認識的メカニズム ——エジプト・南シナイ地域の事例研究—— ……	487
Musashi Tachikawa	The Sixteen Bodhisattvas in the Dharmadhātu Maṇḍala ……	537
Victor A. Shnirelman	Strange Customs: Incipient Social Differentiation in Kamchatka through the Eyes of the First Russian Explorers……………	625
Isao Kumakura and Josef Kreiner	Notes on the Japanese Collection of Count Bourbon Bardi at the Museo d'Arte Orientale di Venezia ……	641

26 卷 1 号

佐々木史郎	近現代のアムール川下流域と樺太における民族分類の変遷……………	1
飯田 卓	マダガスカル南西部ヴェズにおける漁撈活動と漁家経済……………	79
長野 泰彦	嘉戎語の基本構造……………	131

26 卷 2 号

笹原 亮二	三匹獅子舞の分布……………	171
平井京之介	北タイ女性工場労働者とタン・サマイ言説 ——「近代性」への民族誌的アプローチ—— ……………	237
園田 直子	映画フィルムの保存に関する研究の動向……………	259
Will Karkavelas	American Indian Control of Education: The Blackfeet Response ……………	281
Galina A. Komarova	Muslimov Syndrome: To be Alive on the Dead River ……………	315

26 卷 3 号

檜永真佐夫	「ムオン・ムオイの黒タイ慣習法」について ……………	361
郑 晓云	红河上游花腰傣的文化与当代变迁……………	449
楊 海英	十九世紀モンゴル史における「回民反乱」 ——歴史の書き方と「生き方の歴史」のあいだ—— ……………	473
西尾 哲夫・中道 静香	日本におけるアラビア語研究文献目録……………	509

26 卷 4 号

田辺 繁治	再帰の人類学における実践の概念 ——ブルデューのハビトゥスをめぐり、その彼方へ—— ……………	533
川並 宏子	ビルマ尼僧院学校の所有形態と変遷……………	575
三尾 稔	聖者廟空間におけるアイデンティティ・ポリティクスの生成とその回避 ——「インド・ラージャスターン州メーワール地方の スーフィー的聖者廟の事例—— ……………	603
吉岡 政徳	ピジン文化としてのカヴァ・バー ——ヴァヌアツにおける都市文化を巡って—— ……………	663
Arne Røkkum	Meat and Marriage: An Ethnography of Aboriginal Taiwan ……………	707

27 卷 1 号

広瀬浩二郎	人類愛善運動の史的意義 ——大本教のエスペラント・芸術・武道・農業への取り組み—— ……………	1
大村 敬一	「伝統的な生体学的知識」という名の神話を超えて ——交差点としての民族誌の提言—— ……………	25
三島 禎子	ソニンケにとってのディアスポラ ——アジアへの移動と経済活動の実態—— ……………	121

James M. Savelle	The <i>Umialiit-Kariyit</i> Whaling Complex and Prehistoric Thule Eskimo Social Relations in the Eastern Canadian Arctic	159
田和 正孝	石干見研究ノート——伝統漁法の比較生態——	189

27巻2号

岸上 伸啓	カナダ極北地域における海洋資源の汚染問題 ——その現状と文化人類学者の役割——	237
関 剣平	魏晋南北朝における喫茶の文化	283
後藤 明	技術における選択と意志決定 ——ソロモン諸島における貝ビーズ工芸の事例から——	315
James M. Savelle and Allen P. McCartney	The Application of Bowhead Whale Bone Architectural Indices to Prehistoric Whale Bone Dwelling Sites in Alaska and the Canadian Arctic	361

27巻3号

山中由里子	アラブ・ペルシア文学におけるアレクサンドロス大王の神聖化	395
藤井 麻湖	英雄叙事詩『ジャンガル』における“12勇者” ——モンゴル英雄叙事詩の数詞解釈——	483

27巻4号

杉本 良男	儀礼の受難——楞伽島綺談——	615
庄司 博史	中国少数民族語政策の新局面——特に漢語普及とのかかわりにおいて——	683
岸上 伸啓	狩猟採集民社会における食物分配——諸研究の紹介と批判的検討——	725
長崎 広子	ラームナガルの宗教劇ラーム・リーラーに関する研究資料	753

28巻1号

南 真木人	銅鍛冶カーストの近代と銅製水入れの系統分類——西ネパールの事例から——	1
楊 海英	儀礼が維持する集団の歴史的記憶 ——道光年間における祭祀社ダルハトの訴訟事件が反映する歴史観——	39
Ryo Inoue	An Encounter with Medicine Men in North Cameroon: Dreams and Experiences of a Psychotherapist	131

28巻2号

竹沢尚一郎	民族学博物館の現在——民族学博物館は21世紀に存在しうるか——	173
齋藤 晃	戦争と宣教——南米イエズス会ミッションの補食的拡張——	223
福岡 正太	小泉文夫の日本伝統音楽研究——民族音楽学研究の出発点として——	257
馬 建利	海南回族的历史来源与社会变迁 ——对海南省三亚市羊栏镇两回族村的历史学与人类学的考察——	297

28 卷 3 号

宇田川妙子	広場は政治に代われるか——イタリアの戸外生活再考——	329
田森 雅一	近代北インドにおける音楽財産の伝承形態と社会関係の変化 ——サロード・ガラーナーを事例として——	377
戴 庆厦・田 静	仙仁土家语濒危现象个案研究	419

28 卷 4 号

松山 利夫	ガミラロイ——地方町モリーにおけるアボリジナルの歴史と現在——	477
関 雄二・米田 稔	ペルー北高地の形成期における食性の復元 ——炭素・窒素同位体分析による考察——	515
森田 恒之・園田 直子・日高 真吾	大型民族学資料の虫害防除法——加湿空気を用いたオン・サイト殺虫法——	539
福岡まどか	西ジャワのワヤンwayangにおける叙事詩「世界」の形成 ——マハーバーラタを対象として——	571
戴 庆厦・王 朝晖	仙島语濒危趋势个案研究	597

29 卷 1 号

Josef Kreiner	Umesao Tadao's Civilization-Theory, Viewed in the Historical Context of Japanese Anthropological Science	1
Minoru Mio	Looking for Love and Miracles: Multivocal Composition and Conflicts among Believers in a Sufi Mausoleum Festival of Rajasthan, India	21
Hiroki Takakura	Gathering and Releasing Animals: Reindeer Herd Control Activities of the Indigenous Peoples of the Verkhoyansky Region, Siberia	43
吉田 晶子	梵鐘鑄型の造型方法	71
Таксами, Чунер Михайлович	Проблемы у коренных малочисленных народов Севера в XX веке	181

29 卷 2 号

信田 敏宏	ドリアン・タワール村の生活世界 ——マレーシア, オラン・アスリ社会における階層秩序と世帯状況——	201
立川 陽仁	カナダの北西海岸先住民にとってのサケの社会・経済的な意義 ——現代のクワクワカワクワ漁師の経済活動に関する事例から——	307

29 卷 3 号

長野 泰彦	ギャロン語の否定辞	357
-------	-----------	-----

永測 康之	宗教と多元化する価値 ——インドネシアにおけるヒンドゥーをめぐる境界線を定める闘争——	375
金谷 美和	「手工芸」としての絞り染め布生産 ——インド染織業品需要変化への生産者の対応——	429
関口 由彦	「滅び行く人種」言説に抗する「同化」 ——1920～30年代のアイヌ言論人の抵抗——	467

29 巻 4 号

韓 敏	毛沢東の記憶と神格化 ——中国陝西省北部の「三老廟」の事例研究にもとづいて——	499
金谷 美和	インド・ムスリムの生業における親族と姻族ネットワークの重要性 ——グジャラートの染色コミュニティの事例——	551
Peter J. Matthews and Kyaw W. Naing	Notes on the Provenance and Providence of Wildtype Taros (<i>Colocasia esculenta</i>) in Myanmar	587
N. N. ルーバン	1920年代ロシア極東の博物館研究活動発展史	617
L. V. コールネヴァ	グロジェコフ博物館史 ——ハバロフスク市ロシア帝室地理学協会沿アムール支部博物館の 歴史1894-1917年——	637

30 巻 1 号

竹沢尚一郎	人種／国民／帝国主義 ——19世紀フランスにおける人種主義人類学の展開とその批判——	1
張 玉玲	ミクロナ視点から見る在日華僑のアイデンティティの形成過程 ——二世、三世および「リターン者」のライフ・ヒストリーを通じて——	57
Victor A. Shnirelman	Politics of Ethnogenesis in the USSR and after	93
Галина А. Комарова	Этническая социология как междисциплинарное направление в советской этнографии 1960–1980-х гг.	121

30 巻 2 号

森 明子	大都市と移民 ——ベルリンにおける「外国人」カテゴリーと「多文化」意識——	145
菊田 悠	ソ連期ウズベキスタンにおける陶業の変遷と近代化の点描	231
高 茜	中国麗江納西族における東巴文字復興運動——1990年代以降を中心に——	279

30 巻 3 号

松山 利夫	ウォルゲット・ノート——過疎化する地方町とアボリジナル——	331
-------	-------------------------------	-----

青木 文教 (著) 長野 泰彦・高本 康子 (校訂)	
西藏調査報告	349
Laurel Bossen Land and Population Controls in Rural China	421

30 卷 4 号

宇田川妙子	アイデンティティ概念の再構築の試み ——イタリア人アイデンティティという事例とともに——	455
楊 海英	「ラクダの火をまつる儀礼」から民族誌の政治性をよむ ——ネイティブ人類学徒の曖昧な喪失の視点から——	493
馬 建钊・陈 晓毅	珠江三角洲城市外来少数民族的流动与适应	533

31 卷 1 号

高根 務	独立ガーナの希望と現実：ココアとシクルマ政権, 1951-1966年	1
------	------------------------------------	---

特集：世界の人類学 I

竹沢尚一郎	序論	21
桑山 敬己	アメリカの人類学から学ぶもの	27
竹沢尚一郎	フランスの人類学と人類学教育	57
名和 克郎	イギリス「社会」人類学の内実をめぐって ——2002-3年のケンブリッジを例に——	87
秦 兆雄	中国人類学の独自性と可能性	117

31 卷 2 号

西尾 哲夫	ジバリー・アラビア語 (エジプト・シナイ半島南部) の構造と系統	159
飯田 卓	昭和30年代の海外学術エクスペディション ——「日本の人類学」の戦後とマスメディア——	227
梅棹 忠夫・栗田 靖之 (聞き手・構成 飯田 卓)	補説：学術活動と映像マスメディア	286

31 卷 3 号

杉本 良男	天竺聖トマス靈験記	305
CHEN, Tien-shi	Minorities “in between” China and Japan: Complexity of legal status and identity	419

31 卷 4 号

Akira Saito	Creation of Indian Republics in Spanish South America	443
Toshihiro Nobuta	Islamization Policy toward the Orang Asli in Malaysia	479
小野林太郎	ボルネオ島サマ人による漁撈の「近代化」と「伝統」 ——陸サマと海サマによる漁撈の比較をとおして——	497

32 卷 1 号

竹沢尚一郎	パリ／マルセイユ, 2005.10-11——文化の名による統合と排除——	1
苑原 俊明	先住民の権利 ——事前の自由なインフォームド・コンセント原則との関連で——	63
渡部 森哉	インカ国家における地方支配——ペルー北部高地カハマルカ地方の事例——	87

32 卷 2 号

松山 利夫	「オーストラリア原始美術」展とその民族学的背景 ——日本最初のアボリジナル美術展をめぐる資料の紹介——	149
渡辺 和之	放牧キャンプの構成と離合集散 ——東ネパールにおける羊飼いの流動的な関係——	237

32 卷 3 号

清水 昭俊	先住民, 植民地支配, 脱植民地化——国際連合先住民権利宣言と国際法——	307
金子 正徳	婚姻に見る民族集団間関係とアダット (慣習) ——インドネシア・ランブン州プビアン人社会の事例から——	505

32 卷 4 号

岸上 伸啓	文化人類学的生業論 ——極北地域の先住民による狩猟漁撈採集活動を中心に——	529
福井栄二郎	「伝統を知らない」老人たち ——ヴァヌアツ・アネイチウム島における老人の現在と社会構築主義批判——	579
楊 海英	清朝時代伊克昭盟盟長バダラホの奏凱図 ——『圖開勝跡』が描くオルドス七旗——	629

33 卷 1 号

宇田川妙子	イタリアの食をめぐるいくつかの考察 ——イタリアの食の人類学序説として——	1
鈴木 博之	ギャロン地域のカムチベット語・丹巴県蒲角頂 [Rongbrag] 方言の 音声分析と語彙	39
三田 牧	想起される植民地経験——「島民」と「皇民」をめぐるパラオ人の語り——	81

33 卷 2 号

八杉 佳穂	漢字仮名交じり表記考	139
崎山 理	マダガスカルにおけるオーストロネシア系言語由来の 植物名称の意味変化	227
後藤 正憲	民族誌における対話 ——文化革命期のソヴィエト民族学の変遷にみる通約不能なもの——	265

33 卷 3 号

特集：世界の人類学2

竹沢尚一郎	序論	301
米山 リサ	北米の「人類学」とカルチュラル・スタディーズ ——四分野制をめぐる文化戦争——	311
田辺 明生	サバルタン・スタディーズと南アジア人類学	329
大野あきこ	「マルチカルチュラル」オーストラリアにおける人類学	359
森 明子	ドイツの民俗学と文化人類学	397
Daniel Niles	Moving Beyond the Orthodoxies in ‘Sustainable Agriculture’	421
川口 幸大	社会変動のなかの宗族組織 ——中華民国期の広東省珠江デルタの事例から——	453

33 卷 4 号

岸上 伸啓	文化の安全保障の視点から見た先住民生存捕鯨に関する予備的考察 ——アメリカ合衆国アラスカ北西地域の事例から——	493
市川 哲	新たな移民母村の誕生 ——パプアニューギニア華人のトランスナショナルな社会空間——	551
白石 典之・相場 秀廣・加藤 雄三・A.エンフトル	モンゴル国フンフレイ遺跡群の調査とその意義 ——元代「孔古烈倉」の基礎的研究——	599
Shiho Ebihara	Morphophonological alternation of suffixes, clitics and stems in Amdo Tibetan	639
津曲 真一	聖伝の素描 ——ボン教の聖者シェンラブ・ミボの降臨から子息の誕生まで——	661

34 卷 1 号

西尾 哲夫	エジプト・アラビア語のWh疑問文の語順と語順変化 ——コプト語影響説の再検討——	1
山路 勝彦	蛇行する〈原住民工芸〉 ——台湾タイヤル族の織布文化、脱植民地化とモダニティ——	41
飯國有佳子	フェミニズムと宗教の陥穽 ——上ビルマ村落における女性の宗教的実践の事例から——	87
蛭原 一平	沖縄西表島の罫獵師の狩猟実践と知識——11年間の罫場図をもとに——	131
鈴木 博之	納西文化圏のチベット語・永勝県大安 [Daan] 方言の方言所属	167
Domingo A. Madulid and Esperanza Maribel G. Agoo	Notes on the economic plants of Batanes: <i>Citrus</i> species and <i>Phoenix loureiroi</i> var. <i>loureiroi</i>	191

34 卷 2 号

佐々木高明	戦後の日本民族文化起源論——その回顧と展望——	211
太田 心平	血と職と——韓国・朝鮮の土族アイデンティティとその近代の変容について——	229

津曲 真一 聖伝の素描——ポン教シェンラブ・ミボの布教から入滅まで——…………… 271

34 巻 3 号

韓 敏 1940年代中国内戦時期のある中国人キリスト教徒の日記
——国立民族学博物館の資料紹介とその背景—— …………… 455

市野澤潤平 危険からリスクへ
——インド洋津波後の観光地ブーケットにおける在住日本人と風評災害—— …………… 521

James A. Matisoff Toward a Eurasian Bestiary: (I) OTTER in Tibeto-Burman and Mon-Khmer
(II) JACKAL in Sino-Tibetan and Indo-European …………… 575

James M. Savelle Cumulative Bowhead Whale (*Balaena mysticetus*) Harvest Estimates by
Prehistoric Thule Inuit in the Canadian Arctic 1200–1500 A.D.:
Implications for Bowhead Whale Population Modeling and Thule Demography …… 593

34 巻 4 号

野林 厚志 文化資源としての博物館資料
——日本統治時代に収集された台湾原住民の資料が有する現地社会での意義—— … 623

内藤 直樹 東アフリカ牧畜社会における政治的民主化と民族間関係の動態
——北ケニア牧畜民アリアルが経験した地方分権化と国会議員選挙の事例から—— 681

楊 常宝 高等教育産業化以降の中国における農家収入と大学生の教育費負担問題…… 723

青木 文教 (著) 長野 泰彦・高本 康子 (校訂)
チベット日誌…………… 765

35 巻 1 号

梅棹忠夫 追悼号
梅棹忠夫 略年譜・主要業績…………… 1

須藤 健一 国立民族学博物館の創設者 梅棹忠夫先生…………… 5

小長谷有紀 モンゴルにおける農業開発史——開発と保全の均衡を求めて——…………… 9

娜仁格日勒 1960～1980年代におけるモンゴル人民軍の生活実態
——20世紀のモンゴル社会を解説する1つの手がかり—— …………… 139

鈴木 博之 カムチベット語香格里拉県浪都 [Lamdo] 方言の方言所属…………… 231

35 巻 2 号

論文
信田 敏宏 「市民社会」の到来——マレーシア先住民運動への人類学的アプローチ—— …… 269

大杉 高司 キューバ革命の「近代」——「恥ずかしくない」唯物論からの眺め—— …… 299

Maki Tanaka Being Cuban is about being (im) mobile: Spatial imaginaries of Cubanness …… 337

研究ノート
藤井 裕之 アチック・ミュージアムの足半収集の経緯…………… 363

35 卷 3 号

論文

岸上 伸啓	「捕鯨に関する文化人類学的研究における最近の動向について」……………	399
伊藤 敦規	博物館標本資料の情報と知識の協働管理に向けて ——米国南西部先住民ズニによる国立民族学博物館所蔵 標本資料へのアプローチ——……………	471
Masanori Goto	Demarcation and Recollection of Collectivity in a Chuvash Village, Russia……………	527

35 卷 4 号

論文

丹羽 典生	婚姻実践を通じた土地所有権・用益権の獲得 ——フィジー諸島共和国ヴィティレヴ島西部のソロモン諸島民集落の 事例を中心に——……………	545
田森 雅一	近代北インド古典音楽における社会音楽的アイデンティティの構築 ——英領インド帝国期の“カースト統計”と“ナウチ関連問題”を中心に——……………	583
Hiroyuki Suzuki	Phonetic Analysis of dGudzong Tibetan The Vernacular of Khams Tibetan spoken in the rGyalrong Area……………	617
James A. Matisoff	Areal and Universal Issues in Plant and Animal Nomenclature……………	655
Tom Gill	Contesting the Streets: Shelter-Resistant Homeless Men and Encampments in Japan, America and Britain…	681
James Clifford	Repatriation and the Second Life of Heritage: Return of the Masks in Kodiak, Alaska……………	713

36 卷 1 号

論文

川口 幸也	珍奇人形から原始美術へ ——非西洋圏の造形に映った戦後日本の自己像——……………	1
高橋絵里香	「住宅」の思想 ——フィンランド西南部の地域福祉にみる市民社会の範疇とエイジング——……………	35
David Koester	Crosscutting Narratives: Legacies of Religious Repression and Resistance in Soviet Kamchatka……………	77
James M. Savelle and Alison Vadnais	Releasing the Soul: Zooarchaeological Evidence for a Whale Cult among the Prehistoric Thule Inuit in Canada……………	93

研究ノート

大塚 和義	国立民族学博物館におけるアイヌ研究と博物館活動の過去・現在・未来……………	113
-------	---------------------------------------	-----

36巻2号

論文

岸上 伸啓	米国アラスカ州バロー村のイヌピアットによるホッキョククジラ肉の 分配と流通について……………	147
外川 昌彦	想起される「ガンディー」 ——バルタ・チャタジーの市民社会批判とマハトマ・ガンディーにおける 非暴力思想の形成——……………	181
石坂 貴美	マイクロクレジット（小規模融資）利用者のケイパビリティ拡大に向けた検討 ——バングラデシュにおける事例の考察をもとに——……………	227

36巻3号

論文

杉本 良男	四海同胞から民族主義へ ——アナガーリカ・ダルマパーラの流転の生涯——……………	285
崎山 理	日本語の混合的特徴 ——オーストロネシア祖語から古代日本語へ音法則と意味変化——……………	353

研究ノート

近藤 雅樹	現代日本の食屍習俗について……………	395
-------	--------------------	-----

36巻4号

論文

Ritsuko Kikusawa	On The Development of Applicative Construction in Austronesian Languages……………	413
卡 麗娜	エヴェンキとオロチヨンの伝統的狩猟……………	457
池谷 和信	バングラデシュのベンガルデルタにおけるブタの遊牧……………	493
平井京之介	運動する博物館——水俣病歴史考証館の対抗的实践——……………	531

研究ノート

Tetsuo Nishio	A Bibliography of the <i>Arabian Nights</i> in the 18th Century……………	561
---------------	--	-----

37巻1号

論文

上羽 陽子	インド・グジャラート州アーメダバード市における 女神儀礼用染色布の製作技術の現状……………	1
鈴木 博之	カムチベット語香格里拉県巴拉[mBalhag]方言の方言特徴……………	53

研究ノート

小長谷有紀	梅棹忠夫のモンゴル調査におけるスケッチ資料……………	91
-------	----------------------------	----

37 卷 2 号

論文

- 竹沢尚一郎 津波の破壊に対抗する被災コミュニティ
——大槌町の避難所に見る地域原理と他者との関係性—— …… 127
- 河合 洋尚 空間概念としての客家——「客家の故郷」建設活動をめぐって—— …… 199

研究ノート

- 柳沢 英輔 ベトナム中部高原山岳少数民族の伝統的集会施設「ニャーロン」の現在
——コントゥム省, ジャライ省の事例から—— …… 245

37 卷 3 号

論文

- 平井京之介 タイのコミュニティ博物館についての一考察——博物館か、寺院か?—— …… 281
- 信田 敏宏 親族システムの理念と実践
——マレーシア, オラン・アスリ社会の母系制—— …… 311
- Atsuko Tsubakihara Putting “Tehrangleles” on the Map:
A Consideration of Space and Place for Migrants …… 331

研究ノート

- 田森 雅一 インド音楽の近代化とマスメディア
——ラジオ放送が北インド古典音楽と音楽家の生活世界に与えたインパクト—— …… 359
- 岸上 伸啓 米国アラスカ州バロー村におけるイヌピアットの捕鯨祭ナルカタックについて
——祝宴における共食と鯨肉の分配を中心に—— …… 393

37 卷 4 号

論文

- 小長谷有紀 チンギス・ハーン崇拜の近代的起源——日本とモンゴルの応答関係から—— …… 425

研究ノート

- 森 まり子 「ジャスミン革命」の淵源と二つの近代
——タミーミ著『ラーシド・ガンヌーシー』再読による〈イスラームと民主主義〉
再考—— (Azzam Tamimi, *Rachid Ghannouchi: A Democrat within Islamism*. Oxford:
Oxford University Press. 2001. 268p.) …… 449

資料

- 伊藤 敦規 民族誌資料の制作者名遡及調査
——「ホビ製」木彫人形資料を事例として—— …… 495

38 卷 1 号

論文

- 平 木初 藏語和汉语对嘉戎语的影响变迁情况研究 …… 1

研究ノート

河合 洋尚	東南アジアにおける客家研究の新傾向 ——シンガポール、マレーシアを対象として——	17
Marina V. Mongush	Expedition to the Tuvans in China, Russia, and Mongolia in 2012: A Preliminary Report	35

資料

伊藤 幹治	南島研究回想	63
村上 大輔	悪霊ミカ祓いの祈祷書 <i>Mi kha'i bzlog 'gyur</i> 校注	91

38巻2号

論文

日高 真吾・関 雄二・橋本 沙知・椎野 博	アンデス文明形成期の金属製品の製作に関する一考察 ——クントゥル・ワシ遺跡およびバコパンバ遺跡出土の金属製品の 蛍光X線分析の結果から——	125
-----------------------	---	-----

研究ノート

熊谷 瑞恵	ムスリムの国へ行ったムスリム ——トルコ・イスタンブルに住む中国新疆ウイグル族の事例から——	187
-------	---	-----

資料

藤井 紘司	琉球弧・八重山諸島における通耕実践と生態資源利用 ——19世紀末期から20世紀初頭における「高い島」と「低い島」との 往来をめぐる事例——	251
-------	---	-----

38巻3号

論文

出口 正之	日本における民法施行前の「講」と現代非営利組織（NPO）との 特性の共通性	299
久保 忠行	支援のフィールドにおける人類学——カレンニー難民の移動と定住——	337

研究ノート

深田淳太郎	貝殻交易ネットワークの地域史 ——ビスマルク諸島とソロモン諸島地域間におけるムシロガイ交易の 歴史の変遷と現状——	377
-------	---	-----

資料

柳沢 英輔	ベトナムにおけるゴング製作——フッキウ村を事例として——	421
-------	------------------------------	-----

38 卷 4 号

Special Issue Exhibiting Cultures: Comparative Perspectives from Japan and Europe

Akiko Mori	Introduction: Exhibiting Cultures from Comparative Perspectives	461
Akiko Mori	Exhibiting European Cultures in the National Museum of Ethnology, Osaka	475
Elisabeth Tietmeyer	Exhibiting European Cultures in Berlin, Germany	495
Inge Daniels	Museum Experiments in Living Ethnography: 'At Home in Japan' in London?	513
Shingo Hidaka	The Exhibition of Japanese Cultures in the National Museum of Ethnology	533

論 文

上杉 妙子	移民の軍務と市民権 ——1997 年以前グルカ兵の英国定住権獲得をめぐる 電子版新聞紙上の論争と対立——	555
-------	--	-----

39 卷 1 号

論 文

藏本 龍介	都市を生きる出家者たち——ミャンマー・ヤンゴンを事例として——	1
-------	---------------------------------	---

資 料

鈴木 博之	カムチベット語香格里拉県小中甸郷吹亞頂 [Choswateng] 方言の音声分析と 語彙——rGyalthang 下位方言群における方言差異に関する考察を添えて——	45
-------	---	----

Revisiones bibliográficas

Akira Saito, Claudia Rosas Lauro, Jeremy Ravi Mumford, Steven A. Wernke, Marina Zuloaga Rada y Karen Spalding	Nuevos avances en el estudio de las reducciones toledanas	123
--	---	-----

39 卷 2 号

論 文

須藤 健一	ミクロネシアにおける海面保有と資源保護の様式	175
中田 友子	南ラオスの少数民族の移住村における精霊祭祀と仏教 ——言語ゲームの視点から——	237
黒崎 龍悟	タンザニア・マテンゴ高地における植林の受容と継承 ——外来技術の在来化をめぐる一視点——	271

39 卷 3 号

論 文

佐々木史郎	北東アジア先住民族の歴史・文化表象 ——中国黒竜江省敖其村の赫哲族ゲイケル・ハラの人々の事例から——	321
James A. Matisoff	On the Demise of the Proto-Tibeto-Burman Mid Vowels	375

資料

- 伊藤 敦規 国立民族学博物館における研究公演の再定義
 ——「ホビの踊りと音楽」の記録とフォーラムとしての
 ミュージアムの視点からの考察——…………… 397

39巻4号

論文

- 菅瀬 晶子 レバノン南部の聖者アル・ホドル崇敬にみられる「聖者の占有」と
 その背景——歴史的パレスチナとの比較から——…………… 465
 山本 睦 先史アンデスにおけるペルー北部チョターノ川流域社会の形成と変遷…………… 511

資料

- Nobuhiro Kishigami Low-income and Homeless Inuit in Montreal, Canada:
 Report of a 2012 Research…………… 575

40巻1号

論文

- 日高 真吾 大規模災害時における文化財レスキュー事業に関する一考察
 ——東日本大震災の活動から振り返る——…………… 1

Special Issue

- Blai Guarné and Shinji Yamashita Introduction
 Japan in Global Circulation: Transnational Migration and Multicultural Politics…………… 53
 Masako Kudo Transnational Families in a Global Circulation Context:
 The Case of Cross-border Marriages between Japanese Women and
 Pakistani Migrants…………… 71
 Taichi Uchio Micro-politics of Identity in a Multicultural Japan:
 The Use of Western Colonial Heritages among Japanese Filipino Children (JFC) …… 85
 Haeng-ja Chung Transnational Labor Migration in Japan:
 The Case of Korean Nightclub Hostesses in Osaka…………… 101
 Koji Sasaki A Ruptured Circuit:
 The Economic Crisis and the Breakdown of the *Dekassegui* Migration System…………… 121
 Glenda S. Roberts Commentary Japan in Global Circulation:
 Transnational Migration and Multicultural Politics…………… 143

論文

- 田中 正隆 メディアをめぐる公共圏の検討
 ——ベナンの視聴者参加番組の事例をとおして——…………… 149

40 卷 2 号

特 集	マダム・ブラヴァツキーのチベット	
杉本 良男	序論……………	199
井上 岳彦	入口としてのカルムイク草原 ——19世紀前半のカルムイク人とその信仰に関する知識と記憶—— ……	215
高橋沙奈美	ブッタの世界の小さな花 ——エレナ・ガンの『ウトバーラ』が描くカルムイク仏教の世界—— ……	235
高本 康子	不可視の「チベット」、可視の「チベット」 ——欧米と日本におけるチベット・イメージ—— ……	253
杉本 良男	闇戦争と隠秘主義——マダム・ブラヴァツキーと不可視の聖地チベット—— ……	267

論 文

山本 達也	かたちを変えていく歌詞 ——チベット難民社会におけるチベタン・ポップの作詞実践を事例に—— ……	311
-------	---	-----

研究ノート

Madoka Fukuoka	Reinterpretation of the Ramayana in Indonesia: A Consideration of the Comic Works of R. A. Kosasih ……	349
----------------	--	-----

40 卷 3 号

論 文

石井 由香	オーストラリア・アジア系専門職移民の文化・社会参加戦略 ——ある作家の自叙伝と文化・社会活動に注目して—— ……	375
-------	---	-----

書評論文

塚田 誠之	壮族の「民族英雄」儂智高に関する研究の動向と問題点……………	411
-------	--------------------------------	-----

研究ノート

沢山美果子	赤子と母のいのちを守るための江戸時代の民間療法……………	459
Mariko Fujita-Sano	The Role of Meals in the Well-being of American and Japanese Elderly: Meal Programs at Senior Centers and Senior Day-service Centers ……	485

40 卷 4 号

論 文

園田 直子・日高 真吾・末森 薫・奥村 泰之・河村友佳子・橋本 沙知・和高 智美	博物館におけるLED照明の現状 ——2015年夏 国立民族学博物館展示場での実験データから—— ……	513
緒方しらべ	「アーティスト」として生きていく ——ナイジェリアの都市イレ・イフェにおける「アート」のあり方—— ……	547

研究ノート

- 菅瀬 晶子 イスラエル・ガリラヤ地方のアラブ人市民にみられる豚肉食の現在
 ——キリスト教徒とムスリム、ユダヤ教徒の相互的影響—— …………… 619

41 巻 1 号

論 文

- 吉田ゆか子 レプリカの天女様のゆくえ
 ——バリ島天女の舞トベン・レゴンにおける仮面の複製—— …………… 1

研究ノート

- 川瀬 慈 エチオピアの音楽職能集団アズマリの職能機能についての考察…………… 37

資 料

- 鈴木 七美 高齢認知症者のエイジング・イン・プレイスに向けた包摂的活動
 ——アメリカ合衆国における「ブリッジ」のメモリーケアを中心に——…………… 79

41 巻 2 号

論 文

- Noboru Yoshioka Nominal Echo-Formations in Northern Pakistan …………… 109

研究ノート

- 末森 薫 敦煌莫高窟の西魏代における石窟空間構成
 ——千仏図の描写設計を中心として—— …………… 127

資 料

- Gevorg Orbelyan Temporary Exhibition of Khachkars: The Story of Armenian Cross Stones …… 195

41 巻 3 号

論 文

- 三尾 稔 モノを通じた信仰
 ——インド・メーワール地方の神霊信仰における身体感応的な
 宗教実践とその変容—— …………… 215

研究ノート

- 山越 英嗣 資本主義批判としてのアート——オアハカ州のASAROを事例として—— …… 283

資 料

- Yoko Taniguchi Reconsidering of the Meaning of “Children Are Reared by Society as a Whole”:
 Focusing on the Practices of Two Villages in Twentieth Century Japan …………… 315

41 卷 4 号

研究ノート

- Isao Hayashi Materializing Memories of Disasters:
Individual Experiences in Conflict Concerning Disaster Remains in
the Affected Regions of the Great East Japan Earthquake and Tsunami 337



- 須藤 健一 本館展示の新構築とその心——40年ぶりの改変をおえて—— 393